



CS東小便り

No. 2

令和4年10月12日 文責：土屋

地域の皆様の方で

新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かない中ですが、地域の皆様にご協力をいただき、数多くの教育活動を進めています。

<SPD（スペシャル・イングリッシュ・デイ）>



○町都市交流課講師、地域保護者の方々による授業の様子

<社会科見学・施設見学>



○学区にあるのスイカ直売所の方々や商店の方から、直接お話を聞く2年生、3年生の様子

<防災キャンプ>

東小学校では「防災キャンプ」をコミュニティスクールの柱として位置付けています。2年ぶりに宿泊体験を伴い、種々の防災体験を、2日間ですることができました。消防団や赤十字奉仕団といった地域の方々の多大なるご支援、保護者ボランティアの方のご協力により、無事実施できました。心より感謝いたします。

【協力していただいた皆様】

- ・起震車体験 (役場総務課)
- ・防災グッズ製作、水消火器実習 (民生委員のみなさん)
- ・ジュニア防災士講座 (静岡県東部地域事務局危機管理課)
- ・1日目の昼食 (日本赤十字奉仕団函南支部のみなさん)
- ・災害図上訓練 (消防団第6分団のみなさん)
- ・サバイバルウォーク (5年保護者ボランティア、PTA役員のみなさん)



○起震車体験（役場総務課）
5年生だけでなく、6年生
が体験しました。



○民生委員さんによる、消火器訓練（中央）と防災グッズ
づくり体験（右）



○ジュニア防災士を目指し、函南町消防団第6分団
の方々と一緒に、DIG（災
害図上訓練）に取り組む様
子



○日赤奉仕団の方々と福祉
課職員の方々による、カレ
ーづくり（昼食）

第2回CS東小会議（9月29日：会議室）

9月29日（木）第2回CS東小会議が開催されました。学校から、7月に実施した学校評価アンケートの結果について説明し、ご意見をいただきました。

【CS委員のみなさんより】

- 非常に意欲が高い結果となっている。
- 地域との交流を継続してほしい。地域の人材をぜひ活用してほしい。
- 食育の取り組みが各家庭に広がっていくと素晴らしいと思う。
- タブレットの習得が早い。一方でタブレットのような情報機器を扱うときのルールづくりも必要になってくるのではないかな。
- 話の聞き方については幼稚園でも課題であり、小学校と同じような手立てをとっている。
- ★地域のあり方が変わってきている。地域コミュニティーが弱くなりつつあるので、これからは「学校」を核にして地域がつながっていく形を考えていきたい。